

株式会社 トモノ

2016 年度 環境活動レポート

(対象期間 2016年6月～2017年5月31日)



作成日： 2017年8月1日



<環境理念>

日本語独特の発想「勿体無い」の気持ちを込めて、「ものに対する感謝の気持ち」を以って使命の終わったものを片付けます。使命が終わったと思うものでも、必要とする人がいます。その場所では役に立たないものでも、他の場所で役に立つことがあります。我々は、役立てて頂ける人や場所にそのものを届けてあげたいと考えます。私どもの営む産業廃棄物処理業は、まさに環境関連事業の中核を成す業種であります。環境負荷を低減するためにエコアクション21の認証制度を活用して目標を定めて環境経営の精度を高める所存でございます。

<環境保全への行動指針>

1. 環境関連法規を遵守して業を営むことに努めます。
2. 電力及び化石燃料の効率的な使用を心掛け、二酸化炭素排出量の削減に努める。
3. 事業活動から発生する全ての廃棄物量の抑制に努める。
4. 水資源の効率的な使用に努める。
5. グリーン商品を積極的に購入する。

これらを行うに際し、全従業員にこの環境方針を周知徹底するとともに環境活動レポートを公表し、併せて目標を定めて事前に計画を作成し(Plan)、行動を起こし(Do)、定期的に見直し(Check)、改善(Action)を行います。

制定日： 2011年2月17日制定
改定日： 2016年3月9日改訂

代表取締役社長 友野浄二

□組織の概要

(1) 名称及び代表者名

株式会社 トモノ
代表取締役社長 友野浄二

(2) 所在地

本 社 埼玉県北葛飾郡杉戸町高野台西4丁目2番6号（登記上の所在地）

白岡事業所 埼玉県白岡市篠津955-1

白岡工場 埼玉県白岡市篠津854-1

厚木事業所 神奈川県厚木市酒井3053（取引先マネジメントシステムにて活動）

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者 取締役副社長 浅野裕美 TEL:0480-90-4511

担当者 管理部 木村浩司 TEL:0480-90-4511

(4) 事業内容

産業廃棄物の収集運搬業
産業廃棄物処分業
一般廃棄物の中間処理業
廃棄物再生事業者登録
一般区域貨物自動車運送業
古物商
太陽光発電事業

(5) 事業の規模

法人設立 1996年4月1日

資本金 1,000 万円

売上高 126,100 万円

	本社	白岡事業所	白岡工場
従業員	1 名	49 名	9 名
延べ床面積	85 m ²	2476.29 m ²	1486.46 m ²

受託した産業廃棄物の処理量

収集運搬量	49,914.70 t		
中間処理量	3087.3 t	うち再資源化量	2770.5 t
最終処分量	316.8 t		
中間処理後の産廃の処分量	3087.3 t	うち再資源化量	2770.5 t

車種	台数	備 考
2tダンプ車	19 台	詳細は資料参照
2t平ダンプ車	1 台	詳細は資料参照
2tコンテナ車	2 台	詳細は資料参照
4tコンテナ車	5 台	詳細は資料参照
6tコンテナ車	3 台	詳細は資料参照
大型コンテナ車	13 台	詳細は資料参照
フルトレーラ車	3 台	詳細は資料参照
大型ウイング車	2 台	詳細は資料参照
大型ダンプ車	1 台	詳細は資料参照
営業車	5 台	詳細は資料参照
合計	52 台	

主要設備

名称	台数	備 考
破碎機	1 基	詳細は資料参照
圧縮梱包機	1 基	詳細は資料参照
圧縮機	1 基	詳細は資料参照

積み替え保管施設

名称	保管面積	保管上限	備 考
白岡事業所	1039 m ²	2.4 m	詳細は資料参照
白岡工場	20.3 m ²	2 m	詳細は資料参照

(6) 事業年度

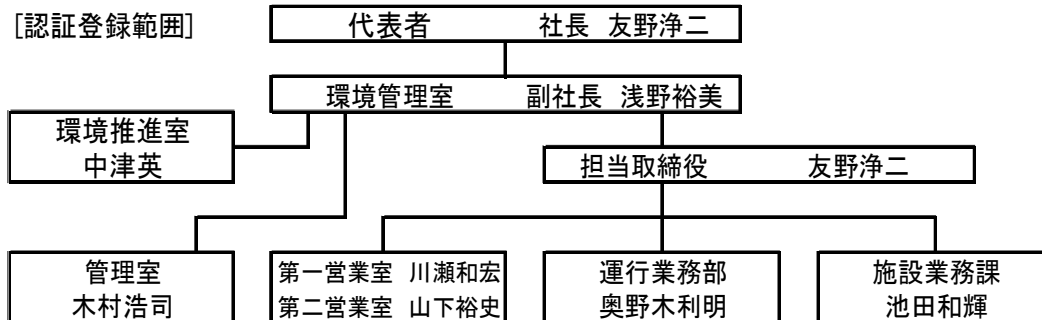
6月1日～5月31日

□ 認証・登録の対象組織・活動

認証・登録番号: 0008233
 認証・登録年月日: 2012年4月20日
 登録組織名: 株式会社 トモノ
 対象事業所: 白岡事業所 349-0204 埼玉県白岡市篠津955-1
 白岡工場 349-0204 埼玉県白岡市篠津854-1
 活動: 産業廃棄物収集運搬業
 特別管理産業廃棄物収集運搬業
 産業廃棄物処分業（中間処理: 破碎・圧縮）
 一般廃棄物の中間処理業

□ 組織図

【環境管理実施体制図】



役職	役割内容
代表取締役	1. 環境方針の決定及びEA21に関する活動の社内への周知 2. 環境管理責任者の任命 3. 環境活動レポート内容についての承認 4. EA21に関する活動結果の評価及び見直し
環境管理責任者	1. EA21に関するシステムの構築と運用及び実施状況確認 2. 環境教育プラン作成 3. 環境活動レポートの作成 4. 審査に対する対応 5. 環境目標の設定
部門責任者	1. 環境目標達成計画の作成及び実施 2. 環境教育の実施 3. 環境目標達成計画の部門内への周知
全社員	1. 環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 2. 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加 3. 環境目標達成計画の実施

□ 許可・登録の内容

(1) 産業廃棄物処分業

事業区分	中間処分業(破碎、圧縮、圧縮梱包)	
許可番号	第1120040882号	
許可年月日	平成24年1月25日	
許可期限	平成29年1月24日	
処理品目	破碎	廃プラスチック類(中身入りの飲料容器を除く)、紙くず、木くず、繊維くず、金属くず(中身入りの飲料容器を除く)、ガラスくず・コンクリートくず(がれき類を除く)及び陶磁器くず、がれき類
	圧縮梱包	廃プラスチック類(中身入りの飲料容器を除く)、紙くず、繊維くず
	圧縮	金属くず(中身入りの飲料容器を除く)

(2)産業廃棄物収集運搬業

普通産業廃棄物収集運搬業許可一覧																	許可品目数	積替え保管の有無			
各許可地取扱品目一覧				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13			14	15	16
				燃殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	金属くず	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	がれき類	ばいじん	鉱さい	ゴムくず		
月日	許可地	許可番号	有効期																		
1	岩手県	00300040882	平成26年5月9日 平成31年5月8日	○	○	○	○	○	▲	○	○	○	○	△	▲	●	○	○	○	16	無
2	宮城県	0400040882	平成27年4月19日 平成32年4月18日	○	○	○	○	○	▲	○	○	○	○	△	▲	●	○	○		15	無
3	福島県	00707040882	平成25年11月28日 平成30年11月9日	○	○	○	○	○	■	○	○	○	○	□	■	●	○	○		15	無
4	栃木県	00900040882	平成29年3月21日 平成36年3月20日	○	○	○	○	○	■	○	○	○	○	□	■	●	○	○		15	無
5	群馬県	01000040882	平成25年12月4日 平成30年12月3日	○	○	○	○	○	■	○	○	○	○	□	■	●	○	○	○	16	無
6	茨城県	00801040882	平成28年7月19日 平成35年6月15日	○	○	○	○	○	■	○	○	○	○	□	■	●	○	○		15	無
7	千葉県	01200040882	平成25年7月15日 平成30年7月14日	○	○	○	○	○	■	○	○	○	○	□	■	●	○	○	○	16	無
8	埼玉県	01110040882	平成29年5月19日 平成35年10月9日	○	○	○	○	○	■	○	○	○	○	□	■	●	○	○		15	有
9	東京都	1300040882	平成29年8月1日 平成36年7月31日	○	○	○	○	○	■	○	○	○	○	□	■	●	○	○	○	16	無
10	神奈川県	01403040882	平成24年12月12日 平成29年12月9日	○	○	○	○	○	■	○	○	○	○	□	■	●	○	○		15	無
11	山梨県	01900040882	平成27年9月19日 平成32年9月18日	○	○	○	○	○	■	○	○	○	○	□	■	●	○	○		15	無
12	長野県	2009040882	平成26年2月24日 平成31年2月23日	○	○	○	○	○	▲	○	○	○	○	△	▲	●	○	○		15	無
13	静岡県	02201040882	平成29年2月20日 平成36年2月19日		○				■	○	○	○		□	■	●				8	無
14	愛知県	02300040882	平成29年8月29日 平成36年8月8日	○	○	○	○	○	▲	○	○	○	○	△	▲	●	○	○		15	無

▲:石綿含有産業廃棄物を含み、自動車等破砕物を除く △:自動車等破砕物を除く
 ●:石綿含有産業廃棄物を含む ■:石綿含有産業廃棄物を含み、自動車等破砕物を含む
 □:自動車等破砕物を含む

(3)特別管理産業廃棄物収集運搬業

特別管理産業廃棄物																						
各許可地取扱品目一覧				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	許	積	
				許	廃	廃	廃	ば	汚	燃	鉍										許	積
1	栃木県	00950040882	平成28年8月21日 平成35年8月20日	○	○	○	○														4	無
2	群馬県	01050040882	平成28年8月7日 平成35年8月6日	○	○	○	○														4	無
3	茨城県	00851040882	平成28年4月19日 平成35年2月12日	○			○														2	無
4	千葉県	01250040882	平成28年11月11日 平成35年8月31日	○	○	○	○														4	無
5	埼玉県	01155040882	平成28年3月7日 平成35年1月30日	○	○	○	○														4	無
6	東京都	1357040882	平成26年7月12日 平成31年7月11日	○	○	○	○	○	○	○	○										8	無
7	神奈川県	01453040882	平成28年4月24日 平成35年4月23日	○	○	○	○														4	無
8	山梨県	01950040882	平成25年10月20日 平成30年10月19日	○	○	○	○														4	無
9	愛知県	02350040882	平成29年8月29日 平成36年8月8日	○	○	○	○														4	無
10	京都府	02651040882	平成28年11月2日 平成35年10月5日	○	○	○	○														4	無

注)許可の詳しい内容につきましては、許可証を参照下さい。

2tアームロール車



フルトレーラ車



(4) 産業廃棄物処理施設

設置場所: 埼玉県白岡市篠津字立野854番1、854番3、1100番13 以上3筆

施設の種類	処理能力	産業廃棄物の種類	設置年月日
			許可年月日
			許可番号
破砕施設	17.76t/日 (16時間)	廃プラスチック類(中身入り飲料物を除く。)以上1種類	平成24年 1月25日 平成24年 1月25日 5-96
	28.07t/日 (16時間)	紙くず 以上1種類	
	36.27t/日 (16時間)	木くず 以上1種類	
	12.91t/日 (16時間)	繊維くず 以上1種類	
	3.37t/日 (16時間)	金属くず(中身入りの飲料物を除く。) 以上1種類	
	9.25t/日 (16時間)	ガラスくず・コンクリートくず(がれき類を除く。) 以上1種類	
	7.57t/日 (16時間)	がれき類 以上1種類	
	8.43t/日 (16時間)	廃プラスチック類(中身入り飲料物を除く。)以上1種類	
圧縮梱包施設 (金属くずにあつては 圧縮施設)	16.23t/日 (16時間)	廃プラスチック類(中身入り飲料物を除く。)以上1種類	平成24年 1月25日 — —
	28.75t/日 (16時間)	紙くず 以上1種類	
	28.43t/日 (16時間)	繊維くず 以上1種類	
	138.96t/日 (16時間)	金属くず(中身入りの飲料物を除く。) 以上1種類	

(5) 一般廃棄物処理施設

許可の年月日	平成24年1月25日	許可番号	29
施設の種類及び処理する一般廃棄物の種類	ごみ処理施設(圧縮梱包、選別・圧縮、破砕)廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、金属くず、ガラスくず、陶磁器くず		
設置場所	埼玉県白岡市篠津字立野854番1、854番3、1100番13 以上3筆		
処理能力	①圧縮梱包施設	8.43t/日	(16時間)
	②選別・圧縮施設	12.52t/日	(16時間)
	③圧縮梱包施設	138.96t/日	(16時間)
	④破砕施設	36.27t/日	(16時間)

(6) 産業廃棄物積替保管施設

【事業場①】 埼玉県白岡市篠津854番1、854番3、1100番13 以上3筆(面積1,485.56㎡)に限る。

産業廃棄物の種類	保管の面積	高さ	保管上限
動植物性残さ 以上1種類	2.0 ㎡	1.9m (屋内)	0.8㎡ (200Lドラム缶 ×4個)
汚泥(有機性のものに限る。) 以上1種類	2.0 ㎡	1.9m (屋内)	0.8㎡ (200Lドラム缶 ×4個)
廃油 以上1種類	2.0 ㎡	1.9m (屋内)	0.8㎡ (200Lドラム缶 ×4個)
廃酸(容器入りの飲料物に限る。)、廃アルカリ(容器入りの飲料物に限る。)、廃プラスチック類(中身入りの飲料物容器に限る。)、金属くず(中身入りの飲料物容器に限る。) 以上4種類	2.0 ㎡	2.0m (屋内)	3.2㎡ (1.6㎡鉄箱 ×2個)
廃プラスチック類(石綿含有産業廃棄物に限る。)、ガラスくず・コンクリートくず(がれき類を除く。)及び陶磁器くず(石綿含有産業廃棄物に限る。)、がれき類(石綿含有産業廃棄物に限る。) 以上3種類	12.3㎡	1.2m (屋内)	7.4㎡ (3.7㎡コンテナ ×2個)

【事業場②】 埼玉県白岡市篠津字立野955番1、下大崎字円明51番17、51番18、55番13、55番14、55番16 以上6筆(面

産業廃棄物の種類	保管の面積	高さ	保管上限
がれき類 以上1種類	56.0 ㎡	2.4m (屋外)	54.0㎡(27.0㎡コンテナ×2個)
金属くず 以上1種類	56.0 ㎡	2.4m (屋外)	54.0㎡(27.0㎡コンテナ×2個)
木くず 以上1種類	56.0 ㎡	2.4m (屋外)	54.0㎡(27.0㎡コンテナ×2個)
汚泥 以上1種類	56.0 ㎡	2.4m (屋外)	54.0㎡(27.0㎡コンテナ×2個)
鋳さい 以上1種類	56.0 ㎡	2.4m (屋外)	54.0㎡(27.0㎡コンテナ×2個)
ばいじん 以上1種類	77.0 ㎡	2.4m (屋外)	81.0㎡(27.0㎡コンテナ×3個)
燃殻 以上1種類	330.0 ㎡	2.4m (屋外)	248.8㎡(27.0㎡コンテナ×8個、8.2㎡コンテナ×4個)
廃プラスチック類 以上1種類	48.0 ㎡	2.4m (屋外)	54.0㎡(27.0㎡コンテナ×2個)
紙くず 以上1種類	48.0 ㎡	2.4m (屋外)	54.0㎡(27.0㎡コンテナ×2個)
廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず(がれき類を除く。)及び陶磁器くず 以上6種類	48.0 ㎡	1.5m (屋内)	24.6㎡(8.2㎡コンテナ×3個)
廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず(がれき類を除く。)及び陶磁器くず 以上6種類	96.0 ㎡	2.4m (屋外)	108.0㎡(27.0㎡コンテナ×4個)

(7)産業廃棄物収集運搬車両

2017年9月6日現在

	車両形式	積載量(kg)	積載可能寸法 全長×幅×高さ(mm)	保有台数
1	4tコンテナ車	3650	3600×1900×1200	1
2	4tコンテナ車	3850	3600×1900×1200	1
3	4tコンテナ車	3900	3600×1900×1200	1
4	6tコンテナ車	6200	4000×2000×1900	1
5	6tコンテナ車	6300	4000×2000×1900	2
6	2t平ダンプ	2000	3120×1620×380	1
7	2tダンプ車	1900	3050×1600×1800	1
8	2tダンプ車	1950	3050×1600×1800	17
9	2tコンテナ車	2000	2730×1570×850	2
10	バン	400	1810×1420×935	1
11	大型コンテナ車	10500	5900×2300×2000	2
12	大型コンテナ車	10700	5900×2300×2000	1
13	大型コンテナ車	10800	5900×2300×2000	5
14	大型コンテナ車	10900	5900×2300×2000	4
15	大型コンテナ車	11000	5900×2300×2000	1
16	フルトレーラ	14000	5900×2300×2000	2
17	フルトレーラ	14700	5900×2300×2000	1
18	大型ウイング車	14200	9600×2410×2500	1
19	大型ウイング車	14300	9600×2410×2500	1
20	大型ダンプ車	11100	5100×2300×1300	1
21				
22				47

〈産業廃棄物収集運搬業の用に供する運搬車に係る低公害車の状況〉

1. 産業廃棄物収集運搬業の用に供する運搬車に係る低排出ガス車の導入状況

2017年9月6日現在

運搬車の排ガスレベル	台数(割合)		台数(割合)	
	H29. 9.18時点		H28. 12. 31時点	
全保有台数(フルトレーラを除く)	43	100.0%	42	100.0%
①平成12年基準適合/PM75%低減ディーゼル車☆☆☆	2	4.7%	2	4.7%
②平成12年基準適合/PM85%低減ディーゼル車☆☆☆☆	0	0.0%	1	2.3%
③平成17年基準適合/PM10%低減重量車☆	2	4.7%	2	4.7%
④平成17年基準適合/Nox-PM10%低減重量車☆	1	2.3%	4	9.3%
⑤平成17年基準適合/排出ガス75%低減車☆☆☆☆	1	2.3%	1	2.3%
⑥平成21年基準適合/排出ガス10%低減車☆	17	39.5%	10	23.3%
⑦平成21年規制適合車	3	7.0%	4	9.3%
⑧平成22年規制適合/排出ガス10%低減車☆	13	30.2%	13	30.2%
⑨平成22年規制適合車	4	9.3%	5	11.6%
⑩				

【低排出ガス車の導入目標】
平成29年9月末までに、⑥、⑦、⑧、⑨の占める割合を全保有台数の80%以上とする。(現在達成率86.0%)

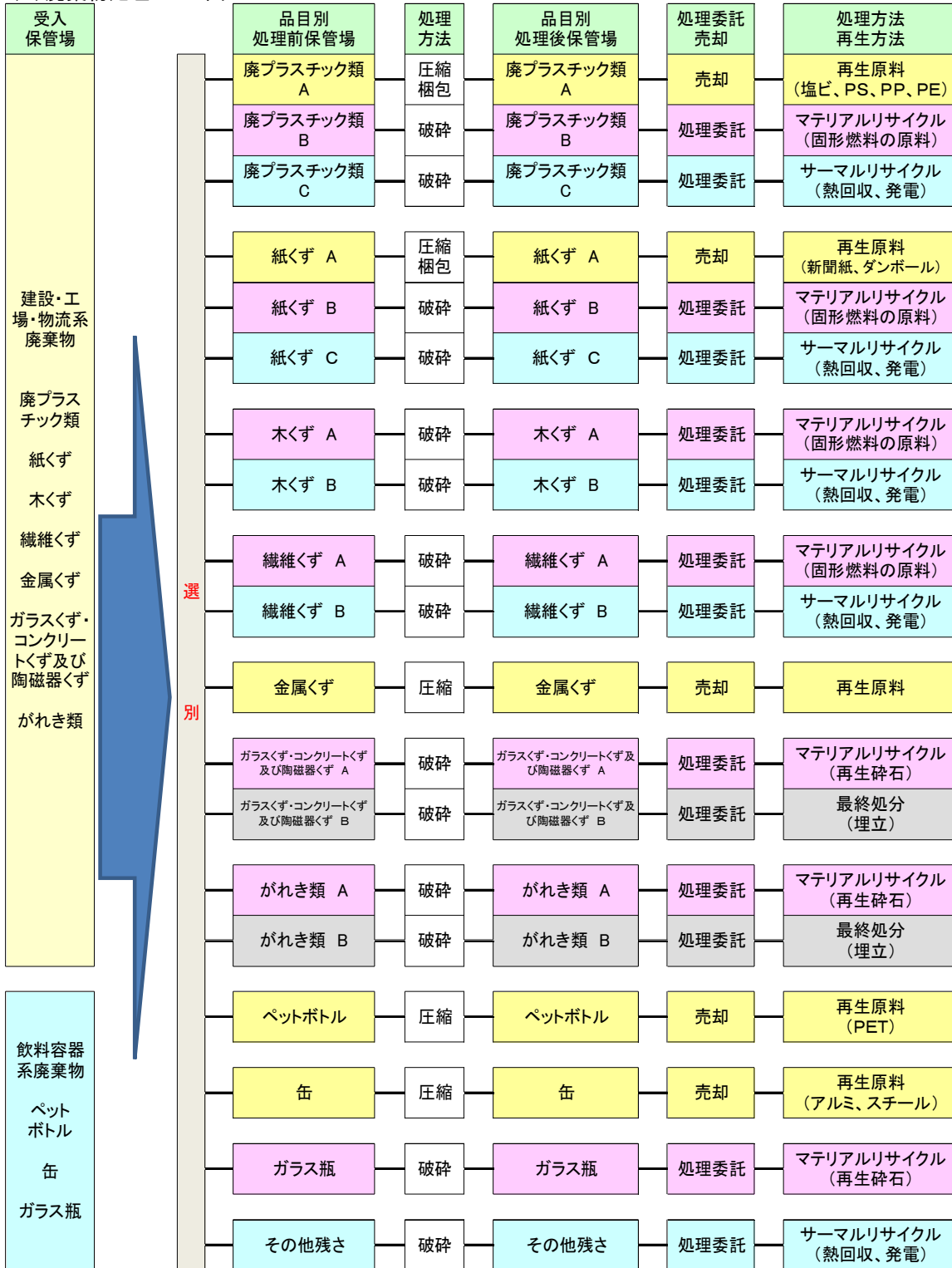
2. 産業廃棄物収集運搬業の用に供する運搬車に係る低燃費車の導入状況

2017年9月6日現在

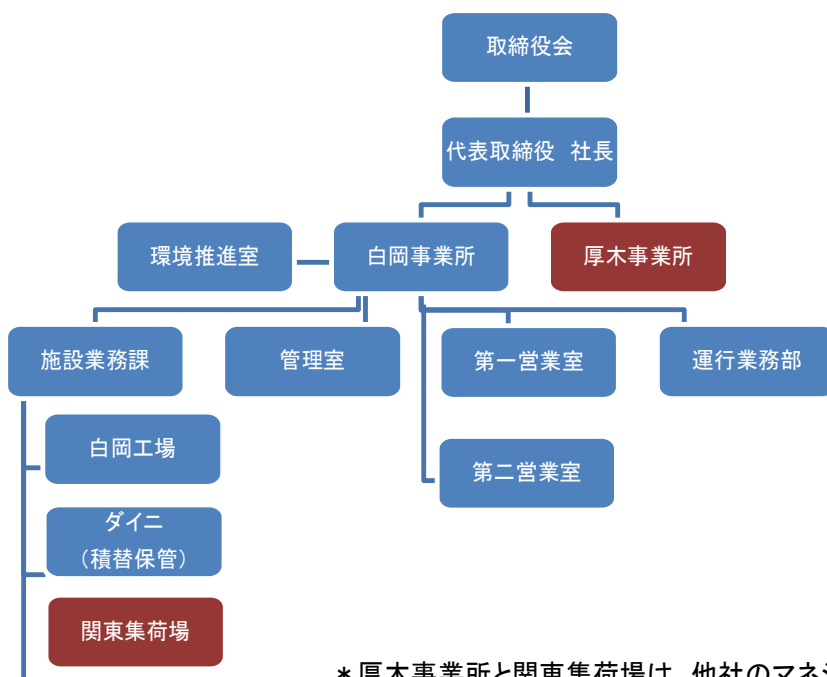
運搬車の燃費低減レベル	台数(割合)		台数(割合)		
	H29. 9.18時点		H28. 12. 31時点		
全保有台数(フルトレーラを除く)	43	100.0%	42	100.0%	
平成17年度燃費基準達成車	①-	0	0.0%	0	0.0%
	②10%低減レベル	0	0.0%	0	0.0%
	③-	0	0.0%	0	0.0%
	④5%低減レベル	0	0.0%	0	0.0%
平成22年度燃費基準達成車	⑤10%低減レベル	0	0.0%	0	0.0%
	⑥15%低減レベル	1	2.3%	1	2.3%
	⑦25%低減レベル	0	0.0%	0	0.0%
	⑧-	23	53.5%	25	58.1%
平成27年度燃費基準達成車	⑨5%低減レベル	13	30.2%	10	23.3%
	⑩10%低減レベル	1	2.3%	0	0.0%

【低燃費車の導入目標】
平成29年9月末までに、⑧、⑨、⑩の占める割合を全保有台数の85%以上とする。(現在達成率86.0%)

(8) 廃棄物処理フロー図



(9) 会社組織図



* 厚木事業所と関東集荷場は、他社のマネジメントシステム下で業務を行っているためEA21の認証・登録の範囲とはしない。

□ 主な環境負荷の実績

項目	単位	2014年	2015年	2016年
二酸化炭素総排出量	kg-CO2	1,587,254	1,550,844	1,729,161
受託産業廃棄物収集運搬料量	トン	90,608	80,083	49,915
受託産業廃棄物中間処理量	トン	0	2,697	3,087
受託産業廃棄物最終処分量	トン	0	856	2,771
受託一般廃棄物収集運搬料量	トン	0	0	0
受託一般廃棄物中間処理量	トン	0	0	0
受託産一般棄物最終処分量	トン	0	0	0
廃棄物排出量				
一般廃棄物排出量	トン	0	0	0
産業廃棄物排出量	トン	0	2,697	3,087
総排水量	m ³	49	174	228

※二酸化炭素排出係数 0.491 kg-CO2/kWh

※一般廃棄物は社内処理を行い、全てリサイクルしております。

太陽光発電設備



□環境目標及びその実績

項目	年度	基準値	2016年度		2017年度	2018年度
		(基準年度)	(目標)	(実績)	(目標)	(目標)
電力による二酸化炭素削減	kg-CO2	28,968	28,678	43,954	28,388	28,099
	基準年度比	2013年	99%	152%	98%	97%
LPGガスによる二酸化炭素削減	kg-CO2	5,077	5,026	4,199	4,976	4,925
	基準年度比	2013年	99%	83%	98%	97%
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO2	1,516,800	1,501,632	1,681,008	1,471,296	1,456,128
	基準年度比	2013年	99%	111%	97%	96%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO2	1,550,844	1,535,336	1,729,161	1,504,659	1,489,151
一般廃棄物の削減	kg	0	0	0	0	0
	基準年度比	2013年	98%	-	98%	97%
受託廃棄物のリサイクル率向上	%	45%	50%	90%	51%	52%
	基準年度比	2013年				
水道水の削減	m ³	174	172	228	160	157
	基準年度比	2013年	99%	131%	92%	90%
グリーン購入の推進	%	-	45%	51%	46%	47%
収集運搬における環境配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・積み込み時に騒音を立てない ・積み忘れをしない ・汚した場合は清掃を行う ・休憩時等の停車時はアイドリングストップ 					

□環境活動計画及び取組結果とその評価、次年度の取組内容

数値目標:○達成 ×未達成

活動:◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取り組み計画	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
電力による二酸化炭素削減		
数値目標	×	各自が努力している姿勢はあったが、機械設備の稼働時間が増加しているため目標数値は達成できなかった。来季は累計で削減が出来るように努力続けることと冬場のエアコン暖房時の熱効率を良くするよう扇風機で風を回す等また、電力に頼らない暖房器具や個々の衣類での対応等取入れたい。
空調温度の適正化(冷房28℃ 暖房20℃)	○	
空調の保守点検	△	
空調の必要な区域・時間に設定	○	
照明の適正化、スイッチの適正管理	○	
機械設備の適正な運転	○	
LPGガスによる二酸化炭素削減		
数値目標	○	フォークリフトの台数、稼働時間が増えたが電動フォークリフトを導入を続けたので結果として目標を達成出来た。来季もこの状態を継続して欲しい。
夏場の給湯器使用の中止	○	
フォークリフトのアイドリングストップ	○	
自動車燃料による二酸化炭素削減		
数値目標	○	車両の増加が原因と考えられる。規模の拡大に合わせて基準を見直す必要が有る。今期は並行して売上高原単位を評価方法として実行してみました。
アイドリングストップ	○	
エリア別営業活動の見直し	○	
急加速・急停車の防止	○	
一般廃棄物の削減		
数値目標	○	年間を通して良い状態であった。来季も継続して欲しい。
・分別の徹底	○	
弁当ゴミの持ち帰り	○	

受託廃棄物のリサイクル率向上

数値目標	○	年間を通して良い状態であった。来季も継続して欲しい。受託廃棄物の数量が増えているにも関わらずリサイクル率が低下していないのは皆の努力の賜物と考えています。来季も継続して欲しい。
・排出先の分別徹底の依頼	○	
・選別の徹底	○	
・リサイクル先の開拓	○	

水道水の削減

数値目標	○	原因は社員数の増加と工場での粉じん抑制のミスト噴霧と考えるので必要以上の噴霧が無いかなどチェックをしていきたい。
節水シールの貼り付け	○	
トイレに擬音装置取り付け	○	
トイレの水タンクにPETボトル	○	

グリーン購入の推進

数値目標	○	目標を達成した。購入者への周知や高い意識での購入作業をしてくれたと考えています。とても良い状態で継続していきたいです。
商品を見極めて購入	○	

収集運搬における環境配慮

・積み込み時に騒音を立てない	○	少しずつ気にしかけているようです。周知活動で《安全ポップ》を作成して全車両に搭載してみました。毎月1回更新しながら変えていきます。周知活動もいろいろだと感じています。
・積み忘れをしない	○	
・汚した場合は清掃を行う	○	
・休憩時等の停車時はアイドリングストップ	△	

□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項(施設・物質・事業活動等)
廃棄物処理法	収集運搬業、中間処理業、産業廃棄物、
道路運送車両法	車両の大きさ・重量、乗車の保安基準
道路交通法	車両の大きさ・重量、通行制限
道路交通法	車両からの積載物のはみ出し、安全運転管理者等
建設リサイクル法	解体工事、産業廃棄物
オフロード法	バックフォー
騒音規制法	空気圧縮機
振動規制法	破碎機、空気圧縮機
大気汚染防止法	廃棄物
悪臭防止法	廃棄物
浄化槽法	浄化槽
フロン排出抑制法	業務用空調機
自動車NOx・PM法	収集運搬車
フロン排出抑制法	業務用空調機
消防法	消火器、溶接機用燃料
グリーン購入法	各種購入品
自動車リサイクル法	車両
家電リサイクル法	特定家電
都市計画法	緑地帯
建築基準法	廃棄物処理施設
顧客要求事項	優良産廃処理業者の認定

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。

なお、違反、訴訟等は過去3年間(あるいはこれまで)ありませんでした。

□代表者による全体の評価と見直し

年間を通じて、皆の環境に対する意識が高まっていると感じることが出来た。

二酸化炭素の排出量、電力使用量の総量が増加しているが、これは会社規模の増加に伴うことなので、致し方ないと考えている。以前からの課題だが、目標数値の設定を総排出量や総使用量では無く、売上高・人員数・車両数などの対比で設定することを考えないと皆が努力しても、その成果が表れにくいのではないかと推測します。その一方、フォークリフトの使用燃料をLPGガスから電力に変更したや、一般廃棄物の排出数量、受託廃棄物のリサイクル率に関して成果が表れているのは、皆の努力の結果が反映された結果と捉えている。休憩時のアイドリングストップに関しては、夏場の熱中症や冬場の風邪の防止などを考慮すると、アイドリングストップが環境に良くて人体に悪いといった矛盾も出てくる可能性が有るのではないかと憂慮しています。ですので、気候の良い春や秋などに、期間を定めてアイドリングストップを行うなどの取組を行うことなどを検討して欲しい。

□環境活動の紹介

(1) 収集運搬業

① 飛散・流出の防止

運搬中の飛散・流出を防止するためにシート掛けや容器の使用等の対策を行います。石綿含有廃棄物は他の廃棄物に混入しないように容器に入れます。

② 積替え保管施設

保管時は飛散防止シート、容器等を使用して飛散・流出防止措置を行います
施設内を清潔に保ち、必要に応じて防臭剤・防塵ミストの噴霧を行います。

③ その他

低公害車の導入を積極的に行います。(低燃費車両率75%を目標とする)
デジタルタコグラフを全車に導入し、省エネ運転に努めます。
運搬設備は定期的に点検・整備を行い、性能の維持に努めます。
効率的なルートでの回収とエリア別営業活動を行います。

(2) 処分業

① 飛散・流出・粉じん・騒音・振動・臭気の対策

飛散・流出対策として作業はすべて建屋内で行います。
粉じん対策として必要に応じてミスト噴霧を行います。
騒音対策として建屋に防音壁を用いて防音を行います。
振動対策として振動発生源に防振材を用いて防振を行います。
臭気対策として施設内を清潔に保ち、必要に応じて防臭剤ふん霧を行います。

② 火災予防

自動火災検知器や消火設備を備えて、消防署の指導などに従い火災予防措置を行います。
自動火災検知器や消火設備は定期的に点検・整備を行います。
漏電チェックを毎年行います。

③ 設備の維持管理

各設備は定期的に点検・整備を行い、性能の維持に努めます。
維持管理に関する点検・検査の記録を作成して5年間保存します。

④ 廃棄物の確認

搬入する廃棄物は、マニフェストで品目・数量を確認した後に許可品目以外の廃棄物の有無を展開検査にて確認します。

⑤ その他

環境に配慮した荷役機械の導入を積極的に行います。
節電機器を導入して節電に努めます。
各設備は定期的に点検・整備を行い、性能の維持に努めます。
雨水等の流入を防止するための設備を設置します。
労働安全衛生教育を定期的に行い、労働災害の防止に努めます。
効率の良い重機の稼働
太陽光発電設備を導入して環境負荷低減と工場内での熱中症対策を行う。

③ 照明の適正化、スイッチの適正管理、LEDライト導入

④ 分別の徹底、使い捨て製品購入の抑制、

⑤ 製品等の長期使用、使用済み用紙の再使用、再利用

⑥ グリーン購入の拡大

⑦ 工業団地周辺のゴミ拾いを行っております。

⑧ 弁当ゴミ持ち帰り活動を徹底しております。

□他の活動の紹介

一般社団法人 環境適正推進協会の活動である「サンタクロースプロジェクト」(空缶・PETボトルを回収・売却し子供たちにささやかなプレゼントを贈る)に全従業員の協力を得て参加しています。



サンタクロースになろう！プロジェクトの皆様

★ 今年も素敵なプレゼントありがとうございます！

おかげさまで、予定通り7月24日(金)夕方からの夏祭り「みんなにここまつり」を無事に終えることができました。ただ、残念なことに「晴れますよ〜に！」との子ども達の願いが届かず、これからスタートという時間に雨が降り始め…急遽、室内バージョンに変更。狭いホールが子ども達やお家のみなさんのパワーでいっぱいになりました。浴衣や甚平を着ておめかした子ども達は、お家の人と一緒にお店屋さんを巡り楽しんでいました。サンタさんから頂いたピカピカ光るオモチャ(カチューシャ&剣)はゲームコーナーの景品として使わせていただきました。子ども達は大喜びで、すぐに身に付けていました(*^^)v 本当にありがとうございました。

(※写真をもっと取りたかったのですが、室内に引越したり、雨が途中で止んだので外に出て花火の準備をしたりとバタバタで・・・あまり取れませんでした。すみません。少しでも、夏祭りの雰囲気だけでも感じていただければと思います)



年長児が作った『ゆめ神輿』最後の夏祭り頑張りました〜♪



♪わっしょい わっしょい♪ 小さい子ども達は大きな声で応援



外にセッティングした時 こういう風に活用しました



花火が出来て良かった(^_^)!



おいしい〜♡



きれいだね〜★



こちらはピカピカ金魚すくい

ピカピカ似合ってる〜♡

陸前高田市立 小友保育所 (所長) 藤井 貴美

* 写真提供 一般社団法人 環境適正推進協会



安全第一でゼロ災を達成しよう！！



- 1、 安全第一
- 2、 清掃の徹底
- 3、 お互いを尊重する

関東センター、白岡工場での安全について
安全装備の着用、安全作業について周知されているとは思いますが
今一度再確認をお願い致します。

1. ヘルメット、安全靴(会社支給品)、手袋、マスク(会社支給品)、
長袖ポロシャツの着用
2. フォークリフト、ユンボの周囲を通るときの声掛け
3. カッターの刃先に人がいないか注意する。
安全が第一、誰も怪我をしない、怪我をさせない

式次第

運行業務部

司会進行
開会宣言
挨拶
安全講和
安全標語唱和
「安全は決意と行動 ゼロ災実行！！」
閉会宣言

野口裕紀
友野浄二
奥野木利明
小林勝己
吉田俊光・加藤孝
友野浄二

平成29年3月10日



1) 防災訓練実施前打合せ



2) 火災発見



3) 管理者へ報告



4-1) 火災状況確認



5-1) 負傷者救護



6) 避難確認



4-2) 消火活動



5-2) 負傷者搬出



4-3) 鎮火確認



5-3) 負傷者保護: 関連部署への連絡



7) 防災訓練実施後の反省会

株式会社トモノ 白岡工場防災訓練

① 実施年月日

平成29年3月10日 AM10:15～

② 訓練参加者

池田 / 小結 / 関根 / 宮崎 / 高橋 / 伊藤 / 中島 / 小林 計8名

③ 実施目的

火災や震災があった場合の避難方法や連絡方法の再確認、消火活動などの訓練

④ 実施内容

- ・実施前に流れを説明
- ・作業中に破砕機から火が上がり出火
- ・出火の第一発見者が周囲に火災発生を知らせる
- ・発見者が作業管理者へ報告
- ・管理者が出火場所を確認
- ・作業者全員を避難通達
- ・避難後の点呼と怪我の確認
- ・作業者1名が避難途中で怪我をしている事の発見
- ・怪我人を救助
- ・管理者が消防署、上司へ連絡
- ・消防車が来る間、出火場所の初期消火
- ・消防車が到着後、消防署員を管理者が出火場所へ誘導
- ・反省会
の流れで順次行いました。

⑤ 防災訓練終了後

今回の避難訓練では、怪我人を想定し訓練を実施した。
避難する時にあせったり慌てたりすると怪我をするので、
落ち着いて避難をする事を知るため怪我人の設定を行った。
イレギュラーな事が生じると混乱を起こすことが多いので、慌てず行動をする事を第一としました。

災害現場から避難時は周囲の作業者へ大きな声で通達し、
迅速な避難を行う事を再度全員で確認出来、
誰が何処で作業しているかの把握をしておかなければならない事の再確認できました。

防災訓練を重ねて行う事で避難経路の確認
消火器の設置場所、連絡方法の再確認を各人に周知出来たと思います。

□参考資料

(1) 産業廃棄物の収集運搬2015年度予定数量(t/年)

燃殻	10,000
汚泥	1,500
廃油	1
廃酸	1
廃アルカリ	25
廃プラスチック類	15,000
紙くず	7,500
木くず	38,000
繊維くず	4,000
動植物性残さ	100
ゴムくず	0
金属くず	1,500
ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	14,000
鉱さい	50
がれき類	1,800
ばいじん	200

(2) 特別管理産業廃棄物の収集運搬2015年度予定数量(t/年)

廃油	20
廃酸	0
廃アルカリ	0
廃石綿	30

(3) 産業廃棄物の処分2015年度予定数量(t/年)

廃プラスチック類	500
紙くず	150
木くず	800
繊維くず	100
金属くず	300
ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	800
がれき類	1,000

(4) 一般廃棄物の処分2015年度予定数量(t/年)

ガラス	900
-----	-----

(5) 収集運搬業務の具体的な計画

業務時間 8:00～17:00 (御要望により24時間対応可)
 休業日 日曜日、祝祭日 (御要望により対応可)
 品目 許可の範囲内 (許可証を参照下さい)

(6) 処分業務の具体的な計画

業務時間 8:00～17:00 (御要望により24時間対応可)
 休業日 日曜日、祝祭日 (御要望により対応可)
 品目 許可の範囲内 (許可証を参照下さい)